

法律科目試験問題（刑法） 配点 50 点

次の【事例】を読んで、甲の罪責について論じなさい（特別法違反の点を除く。）。

【事例】

甲は、A高校卒業後、某社で働いていたが、待遇に不満があり、転職のチャンスを狙っていた。ある日、甲は、B社が大卒の正社員を募集していることを知り、これに応募しようと考え、履歴書を作成した。そこには、甲の氏名、住所、職歴が正しく記載され、甲の顔写真が貼付されていたが、学歴欄には、甲の最終学歴であるA高校卒業という記載のほか、C大学卒業という虚偽の記載があった。

甲は、この履歴書をB社に提出し、面接を受けて採用され、B社社員Dの下で1年ほど働いたが、学歴を偽っていたことが発覚し、B社を解雇された。

Dを逆恨みした甲は、Dを殺害する目的で、ワインに致死量の毒を入れてプレゼント包装し、情を知らないB社の社員Eにこれを渡して、Dに届けるように頼んだ。Eは、甲の依頼を引き受け、このワインを持ってB社に向かった。Dは、甲がDを逆恨みしていることを知らず、関係は良好だと思っていたので、ワインが届けば飲む可能性が高かった。しかし、Eがワインを電車内に置き忘れてしまったため、Dに届けることができなかった。このワインは、Fによって持ち去られ、これを飲んだFが毒の作用により死亡した。